FUKUSHI就職フェア京都丹波を通じて採用された方の声

高齢	介護職	20代職員	ケアコミュニティ（株）	グループホーム亀岡清泉荘
なぜ福祉業界へ	祖母の介護を家族でしていたことがきっかけで、福祉の仕事に興味を持ちました。			
就職先の決め手	今の職場は通勤距離が短く、以前から気になっていましたが、最終的な決め手となったのは、見学をして働いてみたいと思えたことです。			
福祉のリアル	利用者さまの生活に寄り添い、笑顔や感謝の言葉をもらうことができます。きついつと感じることもありますが、とてもやりがいを感じるができる仕事だと思います。			

高齢	介護職	60代職員	ケアコミュニティ（株）	グループホーム亀岡清泉荘
なぜ福祉業界へ	一番はじめのきっかけは、福祉の仕事をしている友人に誘われたことです。			
就職先の決め手	ブースで対応してくださった方に好感が持てたことと、見学に行かせていただいた施設でインコと犬が飼われており、こんな職場で働きたいと思ったことです。			
福祉のリアル	高齢になってからご家族と離れて暮らすのはとても不安があると思うので、少しでも安心して日々の生活をしていただけたらと思います。利用者さまと楽しい時間を共有でき、笑顔が見られた時や「ありがとう」と言っていた時、私も感謝の気持ちが湧いて嬉しくなります。			

障害	支援員	50代男性職員	（福）亀岡福祉会	かめおか作業所
なぜ福祉業界へ	前職では製造業に従事しており、日々機械や製品と向き合う仕事をしていました。しかし、次のステップとして「人と直接関わる仕事がしたい」という思いが強くなり、福祉の業界に興味を持ちました。人と触れ合うことで得られる喜びや誰かの支えになれる「やりがい」を感じたいと思い、福祉業界を選びました。			
就職先の決め手	就職先を決めるうえで、私は地元地域福祉に関わりたいたいという思いが強くなり、自分が育った場所で人の役に立てたら嬉しいなと思っていました。また以前から、障害者福祉に興味があったのと、現在の職場（亀岡福祉会）と出会って、面接を通じ「この職場が私を必要としてくれる」と感じ、「ここで頑張りたい」と思えたのが、最終的な決め手となりました。			
福祉のリアル	福祉の仕事を始めると、確かに業界的に人手が足りない場面、また体力的にしんどいと思うこともあります。いわゆる3Kと言われるのもあながち間違っていないと思う瞬間があります。ただ、それ以上に利用者さんの笑顔や出来ることが少しずつ増えていく姿を見た時の喜びは、「この仕事をしてよかったなあ。」と心から感じます。しんどさよりも「やりがい」が勝るのが、福祉のリアルだと思います。			

児童	保育教諭	20代女性職員	（福）京都ルーテル会	南丹のぞみ園
なぜ福祉業界へ	「人と関わり、誰かの役に立つ仕事に就きたい」という思いから、福祉業界に就職しました。			
就職先の決め手	大学の先輩が働いていることを知り、実習を通じて園の雰囲気や自分が合っていると感じたことが、今の職場の決め手です。			
福祉のリアル	福祉の仕事には、人と関わる仕事だからこそ得られる経験や喜びがあると思います。決して楽な仕事ではありませんが、日々やりがいを感じています。			

児童	保育補助	女性職員	（福）愛嶺福祉会	太田保育園
なぜ福祉業界へ	FUKUSHI就職フェアに来場したことがきっかけで、福祉業界に出会いました。			
就職先の決め手	自分が周ったブースの中で一番親身に話をしてくださり、楽しそうな雰囲気を感じたことが決め手です。			
福祉のリアル	おむつ替えや食事（おやつ）の見守りなど、福祉業界全体で共通する部分や苦勞もありますが、介護・障害・児童の分野ごとに接する相手が変わるので、身体的・精神的な負担も分野ごとに変わってくるだろうと思います。			